

中 部 N O W

公益財団法人オイスカ 愛知県支部・センター会報

第 297 号
令和元年 12 月号

発行：(公財)オイスカ中部日本研修センター
〒470-0328 豊田市勤八町勤八27-56
TEL 0565-42-1101 FAX 0565-42-1103
E-mail: chubu@oisca.org http://www.oisca.org/



2019 オイスカデー開催 碧南市で中山恭子氏講演会開催

11月9日(土)、2019 オイスカデー(愛知県支部主催・碧南高浜推協主管)が碧南商工会議所で開催されました。会場には約250名の会員・支援者が参集し、会場は熱気に包まれました。式典は主催者を代表して杉浦孝成会長の挨拶から始まり、碧南市長禰亘田政信様・高浜市長吉岡初浩様・愛知県議石井拓様、他、多数の御来賓を迎えての開会となりました。

講師の中山恭子氏は、拉致問題担当大臣時代の逸話、ウズベキスタン特命全権大使時代の体験を交えて、日本人抑留者の働きがウズベキスタン国民の親日の歴史を紡いできたこと、いろいろな国の芸術・文化を持ちよって、お互いの国の歴史や文化を理解しあうことの必要性を説かれました。第二部では懇親会があり、中山先生も時間の許す限り同席をいただき、碧南高浜推進協議会女性部の手作り料理や高浜名物とり飯を堪能しながら楽しいひと時となりました。

小杉裕一郎(筆)



中山恭子氏



碧南高浜推進協議会 杉浦孝成会長

コラム

フィリピン・ネグロス島 シルク事業の成功

1981年当時、オイスカフィリピン総局の会長であったテベス氏が、バゴ市に27haの土地を所有しており、バゴ市とオイスカ開発団に農業プロジェクトを始めることを強く勧めた。オイスカはまず経営的に自立できる総合農場の計画をスタートさせた。ところがマルコス政権からアキノ政権に代わった際、農場用地のオーナーのテベス氏が東ネグロスの知事の座を降りたことにより、農場用地の売却が検討されて、農場の存続の危機に陥った。

当時、その状況を視察したオイスカ静岡県支部会員により、研修センター建設支援活動(募金活動)が同県内で展開された。そして、1988年27haの土地の購入資金1100万円と研修センター建設資金700万円が静岡県民より寄せられ、センター建設が実現する運びとなった。

当時のネグロス島は砂糖の単一栽培に頼った単純な産業基盤のため、砂糖の国際価格の乱高下に翻弄されていた。そこでオイスカは、ネグロス島の次期産業として養蚕事業に着目し、1991年4月、ネグロス養蚕センターを開所した。養蚕には高度な技術が必要とされるが、日本から派遣された技術者や、日本で養蚕の研修を受けたOBたちの努力により、バゴ養蚕プロジェクトは、フィリピンの生糸生産の90%を生産するまでに成長した。フィリピン政府はオイスカシルク事業に特別な関心を寄せ、アロヨ大統領はバゴ研修センターを二度にわたって訪問された。

昨年1月より、フィリピン政府の関係機関は、ネグロスシルク事業を基盤とする養蚕普及全国展開事業を実施している。

オイスカ愛知県支部事務局長 村松 明



名古屋南推協設立総会開催

11月4日(月)、10時より東海市市民活動センターにて、名古屋南推進協議会の設立総会を開催致しました。愛知県支部より光岡会長、中部日本研修センターより小杉所長、川上参事、研修生の方々にご出席頂き、役員を選任など行いました。会員10名が出席し、発足にあたり自己紹介していただき、総会を終了しました。総会終了後、懇親会にて昼食を頂きながら会員の皆様と和気藹々とした時間を持つ事もでき、今後の展開などお話ししました。オイスカの長年に渡る海外での活動など今後も継続、持続させていく事を使命と強い思いで今回の名古屋南推進協議会の発足に至りました。新参者ではございますが、オイスカのNGOとしての活動を広く知っていただき、普及していくことに尽力していく所存でございます。設立に際し関係者の皆様のご協力に感謝し、今後の展開に全身全霊で取り組んで参ります。今後ともご指導の程宜しくお願い申し上げます。

名古屋南推進協議会 副会長 大野 明美(筆)

中王食肉技能研修生

基礎研修修了

11月28日(木)、中王食肉㈱へ配属予定の技能実習生2名の基礎研修修了式が行われました。修了式には2名に日本語指導をして下さった加藤先生、後藤先生も出席して下さいました。

2か月間の研修を終え、これから3年間、中王食肉㈱で食肉加工業の実習をします。

研修中は毎日6時半に起床し、グラウンドで点呼、国旗掲揚をし、掃除をすることから一日がスタートします。初めて冬を経験する2名はグラウンドで震えながら点呼を取っていることもありましたが、いつも明るく元気な2名は寒さに負けず、一生懸命研修に励んでいました。

中王食肉㈱の皆様、これから3年間ご指導宜しくお願い致します。

中村仁美(筆)



豊田推協 第1回豊田オイスカデー開催

11月24日(日)、オイスカ豊田推進協議会(以下推協)主催により、「第1回豊田オイスカデー」が豊田スタジアム西イベント広場をメイン会場として盛大に開催されました。中部日本研修センター設立52年、豊田市移転32年を経た現在も一般市民への認知度は低く「一人でも多くの方にオイスカを知っていただきたい、参加いただきたい」そんな想いで、光岡保之会長の発案により、第1回の実行委員会が開かれ準備がスタートしました。以来8回にわたる実行委員会、その間各委員会では準備を重ね、当日は80名近くのボランティアの協力も得て、130名ほどのスタッフでイベントは運営されました。また、多くの企業様からご賛同・協賛金をいただき運営費用が賄われました。

当日は晴天に恵まれ、式典には太田市長様、豊田市議会議長杉浦弘高様はじめ多くの御来賓にも出席をいただき、多くの会員・市民の方が集まり賑やかなスタートとなりました。舞台はキョウエイファイン(法人会員)から協力いただいたトラックをステージとし、足助太鼓や、こじまこども園の園児らによる鼓笛隊、オイスカ高校(浜松市)によるブラバンステージなどで盛り上がりました。またキッチンカーや、千足町自慢の鳥飯、オイスカ石野友の会によるサテ(マレーシア風焼き鳥)、スーパーやまのぶによる世界のビールなど、国際色豊かな料理に行列ができました。来場者数は主催者の予想を上回り、3000名を超えました。豊田推協役員・会員の皆様、協賛いただいた企業様、出展協力いただいた皆様、当日ボランティアいただいた皆様、会場に足を運んでいただいた市民の皆様へ心から感謝いたします。ありがとうございました。

小杉裕一郎(筆)



研修生 四国・広島へ研修旅行

11月11日(月)から14日(木)まで、研修旅行に行ってきました。例年通り、まずはオイスカ四国研修センターへ。12日は四国研修センターと合同での広島訪問。始めに三原市の果実の森公園でリンゴ狩り体験をしました。鈴なりのリンゴにみんなビックリ！食べてそのおいしさにまたビックリ！お腹いっぱいになるまでしっかり味わいました。

次に広島市へ移動して、広島県支部の皆様と合流。昼食をご馳走になってから、平和記念資料館での平和学習へ。資料館の中はとても重苦しい雰囲気、外国の方々も修学旅行の学生も、静かに、真剣に展示に見入る様子が印象的でした。研修生にとっても、平和について改めて考え直す、良い機会になりました。

13日も広島県支部の方々にご案内いただき、宮島見学。残念なことに大鳥居は改修中のため、すっぽりと囲いに覆われており、その姿を拝見することはできなかったのですが、厳島神社と周囲の自然との美しさに、研修生の写真を撮る手も止まりませんでした。

最終日の14日は、四国研修センターで農作業をしてから、京都で金閣寺へ立ち寄り、中部日本研修センターへ帰ってきました。

道中では明石海峡大橋、瀬戸大橋も渡ることができ、その大きさに研修生は驚いておりました。様々な経験ができたのも、広島県支部の皆様、会員の皆様のご支援のお陰です。皆様、ありがとうございました。 安部雅之(筆)



11月研修生の活動

芦田 奈々(筆)

中部センターでは、月に一回茶道の授業があり、今回は国際協力ボランティアのメレ、技能実習生のジュリアン、シンディが参加しました。



お茶を点てています。ジュリアン(左)と、シンディ(中央)は、初めてお茶を点てました。

先にお茶を飲む人は「お先に」と言い、それに対して隣の人は「どうぞ」と言います。みんなで「お先に」「どうぞ」を言う練習をしています。

お茶を飲んでいきます。初めて抹茶を飲んだジュリアンとシンディは、「おいしいです！」と言っていました。

お茶碗を拝見しています。お茶碗を落として割ってしまわないように、低い位置で見ることを教えてもらいました。

行事予定表

12月予定

- 1日 オイスカ友の会講演会
- 1日 大阪マフソン
- 2日 技能実習生2名配属(中王食肉)
- 5日 豊田東高校交流会
- 8日 愛知淑徳大学ユフボメッセ
- 11日～17日 マーシア MRSM 研修
- 21日～22日 豊田つらこや
- 24日 冬の英語キャンプ
- 28日 餅つき体験交流会、仕事納め

1月予定

- 6日 仕事始め
- 12日 音楽自主研ミュージカル
- 18日 職員規律訓練
- 24日 滋賀タイフン・埼玉タイハツ
- 29日 丹羽推協新年会

技能生入国

退職のご挨拶

このたびは、一身上の都合により12月末に退職することとなりました。オイスカには、国際協力ボランティアだった時を含めると、2年10か月お世話になりました。たくさんの方の研修生に出会い、私も楽しませていただきました。面白くて優しい研修生達と、あたたかい会員・関係者の皆様に感謝しております。今まで本当にありがとうございました。

芦田奈々



更新会員名簿(578/831)

- 安城(61/69) 神谷清隆、大屋明仁、近藤之雄、二村 守、深津 修、松尾学樹、鈴木 浩、石川博雄、石川博英、杉山朗、野場慶徳、松本佳栄、寺沢正嗣、杏名喜代治、塚原信一、白谷隆子、神谷和明、石川郁子、万能工業 株式会社
- 刈谷(34/49) 株式会社 三陽製作所、カリツー 株式会社
- 豊田(167/259) キトウ興産 株式会社、ビエーテック 株式会社、鬼頭工業 株式会社、愛知県立豊田東高等学校、原田隆司、土川典子、大東工業 株式会社
- 名古屋(53/64) 有限会社 タイヨーペイント、芳川 猛、西野拓史郎、鬼頭恒子、株式会社エナジィ、名古屋鉄道 株式会社、金児庸一
- 名古屋南(13/15) 大野明美、小柳津初男、中里高之
- 丹羽(41/66) 株式会社 柳風水野商店、田中志典、熊沢治夫、株式会社 酒井建築、株式会社 みやこや、大藪伸康、キユーホールディングス 株式会社
- 碧南高浜(41/59) 株式会社 ジェネックス

新入会員(個人)

- 中里高之(名古屋市)
- 金児庸一(名古屋市)
- 横井芳典(みよし市)
- 加古崇史(大府市)
- 大田弘樹(名古屋市)

新入会員(法人)

- 株式会社 エスエヌ ホールディングス(名古屋市)

寄付金

- トヨタファーム(豊田市)
- リネットジャパングループ 株式会社(大府市)
- 株式会社 引越一番(刈谷市)
- アイシン高丘 株式会社(豊田市)
- 豊田鉄工 株式会社(豊田市)
- 井高建築 株式会社(豊田市)
- 住友ゴム工業株式会社 名古屋工場(豊田市)
- 株式会社 FTS(豊田市)
- オイスカ石野友の会(豊田市)
- サナゲ印刷 株式会社(豊田市)
- 神戸屋商事 株式会社(豊田市)
- 村松明(西尾市)
- トリニティ工業 株式会社(豊田市)
- 豊生ブレイキ工業 株式会社(豊田市)
- 合同会社 P-BEANS(豊田市)
- 稲垣鉄夫(豊田市)
- 株式会社 For Nature(名古屋市)
- 河合秀(豊田市)

インクカートリッジ

- 鈴木宏枝(碧南市)
- 有限会社都築仏壇店(額田郡幸田町)
- 安成工業 株式会社(安城市)

書き損じはがき

- 有限会社都築仏壇店(額田郡幸田町)

寄付品

- 鷺見三重子(刈谷市)
- 株式会社三井酢店(知多郡阿久比町)
- 富田司(常滑市)
- 松石裕就(名古屋市)
- 中村浩之(豊田市)
- 高濱耀圭(美豊田市)
- 陸美産業 株式会社(平田市)
- 市協公平(大府市)
- 加藤英行(豊田市)
- 明保澄雄(岡崎市)
- 酒向淳治(豊田市)
- 小林ひろみ(岡崎市)
- 水野カナエ(豊田市)
- 鈴木哲夫(知立市)
- 鈴木康子(豊田市)
- 工藤泰子(豊田市)
- トヨタファーム(豊田市)
- 中塚隆志(長野県)

オイスカ新米の販売

コシヒカリ 減農薬

- 玄米 (350円/kg)
- 七分・白米 (400円/kg)

大変おいしくて評判です。